

三国山山行報告（平成 28 年 6 月 10 日（金））

天気： 晴れ 参加者： 2 名

行程： 新宿 6：27＝（小田急線）＝7：48 新松田/松田 8：04＝（JR 御殿場線）＝8：25 駿河小山 8：30＝（タクシー）＝8：45 三国山東登山口 8：55－9：45 三国山 9：55－11：25 大洞山－12：00 アザミ平（昼食） 13：00－13：40 竈坂峠 13：43＝（バス）＝14：20 御殿場 14：51＝（JR）＝15：25 松田/新松田 15：32＝（小田急線） 16：40 下北沢

三国山は神奈川、山梨、静岡 3 県の境となっている山で、緑のきれいな静かな尾根道を楽しむことができる。土曜日に計画したが、雨の予報となったので金曜日に変更した。

当日は 6 時 27 分新宿発の小田急線で小田原方面に向かい、JR に乗り換え 8 時 25 分に駿河小山に着いた。タクシーで山に向かい、明神峠を越してさらに先に車を進める。8 時 45 分に着いた三国山東登山口は、明神峠から徒歩で 30 分以上かかるのでかなり楽をした。

本日のコースは高低差の少ない尾根歩きなのだが、最初だけはやや急な斜面を登らなければならない。霧が出ており直射日光が無いので涼しいが、登るにつれて汗が出てくる。全く人のいない静かな緑の斜面を登り、9 時 45 分に平らで広い三国山山頂（1,328m）に到着した。登りで汗をかいたが霧の山頂は風が涼しく、半袖では寒いくらいである。山頂は樹林ばかりで見晴らしが無いので、10 分ほどの休憩の後出発する。この先は平らな広い尾根道が続き、両側の広葉樹林の幹にはコケが張り付いている。地面にはコバイケイソウが一面に茂っていて緑一色で花は見当たらないが、赤いウツギの花が登山道に落ちている。

ズナ峠を過ぎ、檜木山を過ぎ軽く降って軽く登ると、11 時 25 分に大洞山（1,384m）に到着、本日の最高地点である。ここを過ぎるとすこしずつ下りとなり、火山礫の地面を歩くと 12 時 00 分にアザミ平に着いた。目の前には半分霧に隠れながら立山が大きくそびえている。立山は富士山の見晴らしが良いそうだが本日は見えそうもないので、竈坂峠に下ることにしてここでゆっくりお昼とする。アザミ平は広い平地で休憩には最適だが、植生保護のためロープで囲まれていて入れない。山梨側に若干青空が見られるものの、頭上は白い雲と霧に覆われている。日差しがあると暑いだろうが、適度な風と相まって爽やかである。アザミ平とその周辺にはウツギの花が沢山咲いているが、肝心のアザミは全くない。

昼食後 13 時 00 分に出発、立山との分岐からは U 字の溝になった傾斜の少ない道をゆっくり下る。国道が近くなると墓地にぶつかり、中を通して 13 時 40 分竈坂峠に着いた。待つこともなく 43 分に来たバスに乗って御殿場駅を目ざした。バスはくねくねとした山道を下っていき、御殿場駅に着いた。汗をたっぷり吸ったシャツを駅のトイレで着替えてさっぱりし、新松田で乗り換え、16 時 40 分に下北沢で解散した。

今回は梅雨入り後にしては天気が良く、山上は涼しくさわやかであった。霧に覆われた緑の多いならかな尾根道は、見晴らしは無いものの静かな山歩きを楽しむことができた。

（伊藤）



大洞山山頂



コケと緑の尾根道



アザミ平



籠坂峠にて